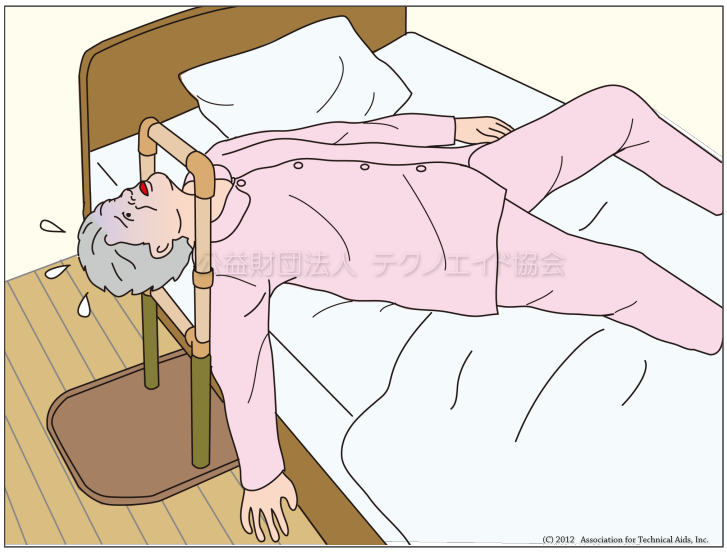
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：289
転倒した際、手すりの隙間に頭を挟んでしまう

場面の説明

転倒したはずみで首が床置き形手すりの隙間に入り込んでしまい、抜けなくなってしまった



利用シーン	起居・就寝
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	手すり
分類コード (CCTA95)	123009 (床置き式起き上がり用手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

実際に死亡事故が起こってしまった事例です。手すりは転倒を防いだり、立ち上がりを補助する目的で使用するものですが、配置が不適切であったり、本来手すりを安全に使用できない人に用いたりすることで、かえって危険になってしまうことがあります。適切な配置を検討し、十分に説明することはもちろんですが、利用すること自体が適切であるかどうかの判断が重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

モノ：ちょうど頭が入り込んでしまう隙間があった
環境：設置場所が悪かった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：289

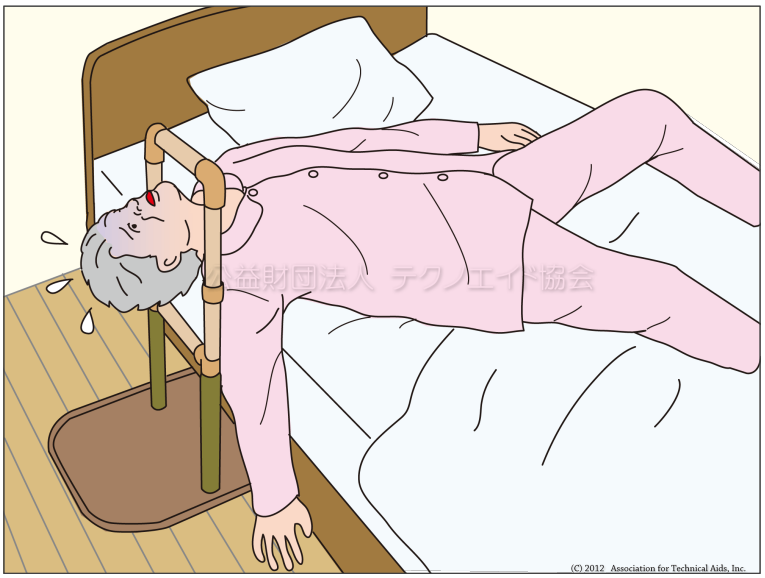
転倒した際、手すりの隙間に頭を挟んでしまう

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

転倒したはずみで首が床置き形手すりの隙間に入り込んでしまい、抜けなくなってしまった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.